

施策・事業の概要

- ・区民会議から「地元農産物と地域交流」、「循環型のまち・生ごみリサイクル」や「里山ボランティア」の推進などが提言されたことから、麻生区内の地域資源を活用しながら、これらの取組を進めます。
- ・大学や学校、農業者、事業者、関係局等と連携しながら、区内にある農業資源（早野・黒川・岡上の農業振興地域、明治大学黒川農場）や緑地などの環境資源を活用した地域活性化や地域交流を推進します。
- ・区内適地を活用した農の学習、次世代育成、地域・世代間交流等の農園づくりを進めます。

現状と課題

- ・麻生区内には、早野・黒川・岡上に農業振興地域があり、市内の農地、山林のうち42%が集積するなど、農業資源や環境資源が豊富ですが、担い手の高齢化などにより、遊休地や手入れの行き届かない農地等の増加が見込まれます。
- ・明治大学黒川農場が開場したことなどを契機に、区民や大学、学校、農業事業者、関係局などが連携し、地域資源や地域ニーズを把握した上で、農業資源や環境資源を活かしたまちづくりを推進する必要があります。

具体的な取組内容

取組状況

【黒川地区】  
**■明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会の運営**  
 黒川地域関係者の連携・相互協力を図り、農と環境を活かしたまちづくりを推進するための協議会の運営及び平成25年度中に専門部会を設置  
 【構成】明治大学農学部、明治大学黒川農場、セラサ川崎、地元関係（営農団地管理組合、地元町内会など）、経済労働局、建設緑政局、麻生区役所 ほか

◆専門部会(案)

- ・農産物等研究（経済労働局農地課 ⇒地域活性化につながる農産物等の調査・研究
- ・地域活性化（麻生区役所企画課） ⇒地域の活性化につながるイベント等の企画・実施
- ・里地里山保全利活用（建設緑政局みどりの協働推進課⇒里地里山の保全・利活用等の企画・実施

●明治大学と麻生区との協働

- ・黒川農場収穫祭や地産地消を通じた農の魅力発信
- ・6大学公学協働ネットワークとの連携  
 ⇒黒川農場における親子での農業・食育体験イベント実施(10/5)  
 黒川農場収穫祭における昭和音楽大学のコンサート開催(11/9)



明治大学黒川農場校舎

【早野地区】

- これまでの取組や地域資源を活かした活性化策の検討
- 遊休地を活用した体験農業等の検討

【岡上地区】

- 岡上地区役員会における地域活性化に関する意向確認（経済労働局との連携）
- 観光農園等への支援検討

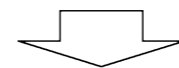
【麻生区内全域】

- 大学等と連携した地産地消…禅寺丸柿や地元野菜のスイーツ開発や直売
- 農業と環境の魅力発信…ウォーキングイベント、写真コンクール、里地・里山保全活動等
- (仮称)地域コミュニティ農園…区内適地にて、農と環境への理解、次世代育成、地域・世代間交流を促進

2014 (H26) 年度

【黒川地区】

- 黒川地域連携協議会及び専門部会の運営



農と環境を活かしたまちづくりの基本計画及び実施方針策定

黒川地区の地域資源を活かした地域活性化や地域交流の方策の計画等

- ・農業公園やグリーンツーリズム
- ・明大農場や学生と連携したイベントや商品開発
- ・区民参加型の資源循環や環境保全活動
- ・黒川地区農家及住民等の意向の調査・分析

継続

継続

2015 (H27) 年度

【黒川地区】

- 黒川地域連携協議会及び専門部会の運営



農と環境を活かしたまちづくりの実施計画策定



農家が貸し出している市民農園（黒川）

【早野地区】

- 遊休地を活用した体験農業等の実施

【岡上地区】

- 観光農園等への支援実施

検討・実施

●(仮称)地域コミュニティ農園

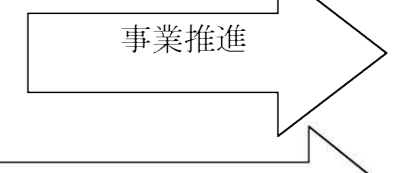
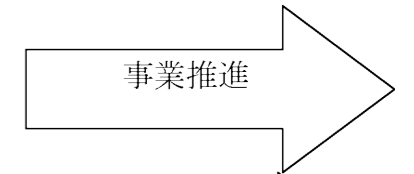
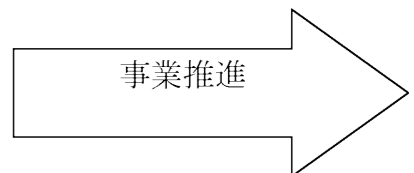
- ・研究会設置
- ・ワークショップ開催

●(仮称)地域コミュニティ農園

- ・研究会運営
- ・基本構想策定

●(仮称)地域コミュニティ農園

- ・研究会運営
- ・区内適地における基本計画策定



# 農と環境を活かしたまちづくりの推進 2

## 黒川地区

### 【区的主要な取組】

- ①「農と環境を活かしたまちづくり」に向けた基本計画・実施方針・実施計画の策定
- ②明治大学「麻生地区農業公園化プログラム」との協働
  - ・生ごみ堆肥による資源循環型地域づくり
  - ・黒川農場収穫祭
  - ・グリーンツーリズムの企画を可能にする「地域人」の育成

### 【具体的な展開】

#### ◆明治大学黒川農場収穫祭の企画・実施

- ・地域住民や学生参加型の企画により、農や環境、地産地消についての情報・魅力の発信



H24. 11 黒川農場収穫祭の様子

【25年度】6大学公学協働ネットワークに基づき、昭和音楽大学の協力による演奏会を開催(25.11.9)

#### ◆農業体験イベント

- ・子どもから大人までが農業に親しむ機会を得られるイベントの企画・実施



【25年度】6大学公学協働ネットワークに基づき、明治大学黒川農場の協力による親子での農業・食育体験イベントを実施(アグリ・エコファーム体験 in 明大黒川農場。25.10.5)

#### ◆グリーンツーリズムの推進

- 黒川地区の散策や里地・里山のPRや体験イベントの企画・実施



黒川の景観

#### ◆地産地消の推進

- 学生と連携したレシピの開発や、農場産野菜直売等による魅力発信

#### ◆黒川地区において、「農」や「里地・里山」を気軽に体験する機会の提供及び情報発信

- 麻生観光協会等と連携し、ホームページやガイドマップの製作

## 早野地区

### 【区的主要な取組】

- ・これまでの取組や地域資源を活かした活性化策の検討
- ・高齢化等により遊休地が増加していることから、親子体験農業等の実施による農を体験する場として検討 ほか

親子体験農業のイメージ



ハーブ栽培などの新しい農地の利用



## 岡上地区

### 【区的主要な取組】

- ・地元への意向確認（経済労働局との連携）
- ・農業振興策として、観光農園やグリーンツーリズムの推進を目指していることから、イベントや情報発信等による支援検討 ほか



観光農園  
(ブルーベリーや柿採り)



岡上営農団地

## 麻生区内全域

- ◆麻生区産農産物（禅寺丸柿など）を活用し、大学と連携した商品開発やイオン等と連携した地産地消
- ◆区民参加型の生ごみリサイクルの普及啓発と生ごみ堆肥の農への利用促進
- ◆里地・里山ボランティア活動の推進
- ◆あさお体験ウォークや歴史観光ガイド等のウォーキングイベントを開催し、農や環境の魅力発信や体験
- ◆区ホームページや市政だより区版による農と環境の魅力発信
- ◆観光写真コンクール等で農と環境の魅力発信

レストランあさお  
地産地消の取組  
麻生産の野菜を使用



### ■（仮称）地域コミュニティ農園

#### 【取組内容】

農を通じて様々な世代の区民が交流する新たな農園づくりを明治大学と研究する

#### 【事業効果】

- ◆区内遊休農地や未利用地の有効活用
- ◆農業体験を通じた農や食育への理解促進・次世代育成
- ◆農作業や花壇づくりなどを通じた地域・世代間交流
- ◆日常的な交流によるコミュニティの活性化・憩いの場



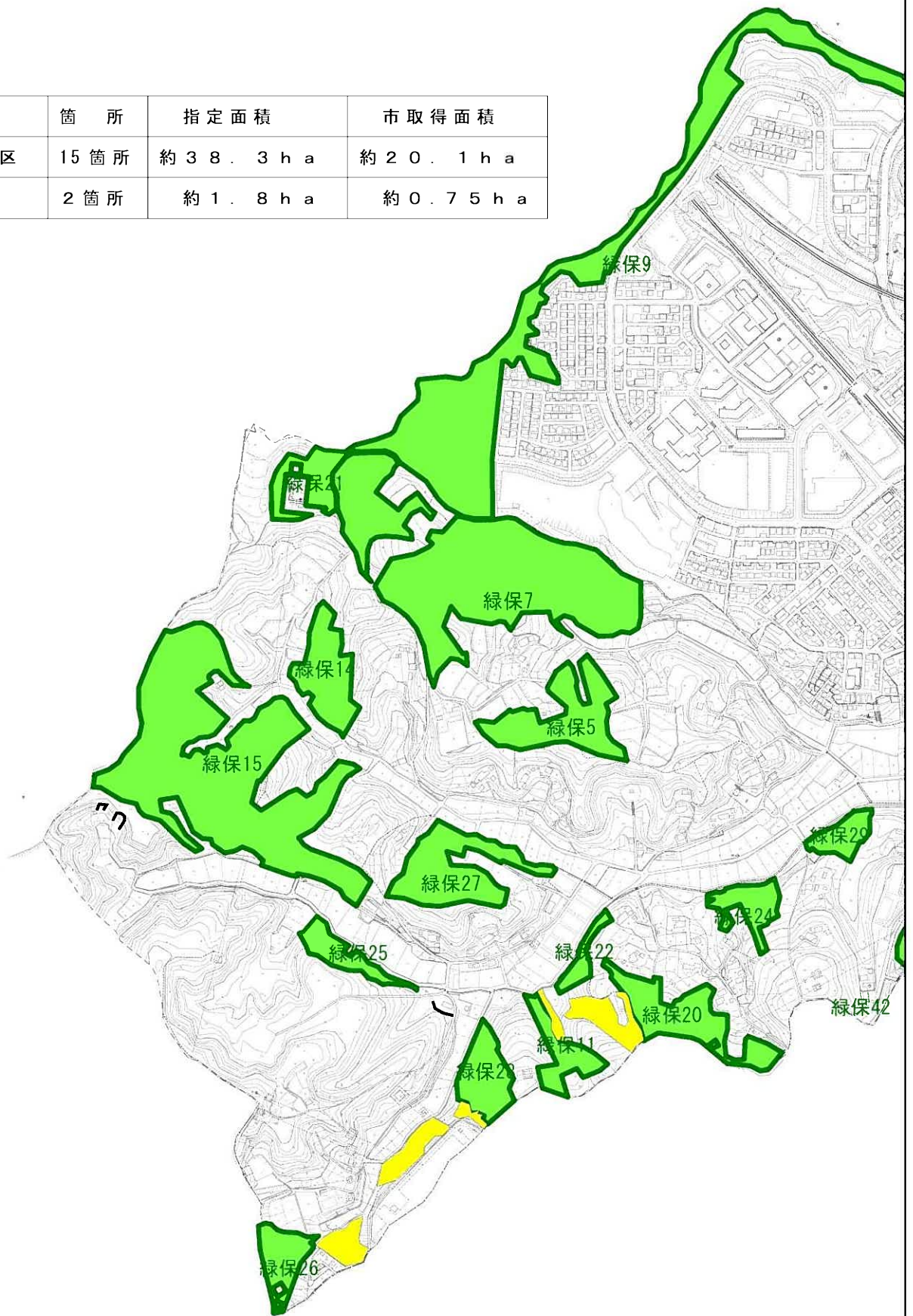
ボランティアによる里山保全活動



黒川の散策路



緑地保全	箇所	指定面積	市取得面積
特別緑地保全地区	15箇所	約38.3ha	約20.1ha
緑の保全地域	2箇所	約1.8ha	約0.75ha



特別緑地保全地区 (H25年3月現在)  
 緑の保全地域 (H25年3月末現在)

500 m  
 1:10,000

明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会  
(仮称) 農産物等研究専門部会設置要領 (案)

(趣旨)

第1条 明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会設置要綱第7条に基づき、黒川を中心とした麻生区内において、将来、農畜産物、林産物及びその加工品（以下「農産物等」という。）の栽培や販売等における課題を整理し、地域の活性化につながる農産物等を調査・研究するため、農産物ブランド等研究専門部会（以下「専門部会」という。）を設置する。

(調査・研究事項)

第2条 専門部会は、次の事項について協議する。

(1) 地域農産物ブランドの研究

- ア 商品ブランドと成り得る郷土作物などの発掘
- イ 農産加工品等の検討・商品開発

(2) 商品化に向けた支援

- ア 商品化に係る課題の整理
- イ 試験栽培方針の検討
- ウ 販路・販促の検討

(3) 新規農産物の研究

- ア 経済性の高い農産物や直売所向けの農産物の栽培試験
- イ 普及に向けた支援

(4) その他前各号に附帯する事項

(専門部会委員等)

第3条 専門部会委員は次の選出区分から協議会が選任する。

- (1) 明治大学農学部及び農場
- (2) セレサ川崎農業協同組合
- (3) 農業者団体
- (4) 神奈川県農業技術センター
- (5) 川崎市麻生区役所企画課
- (6) 川崎市産業振興部工業振興課

(7) 川崎市農業振興センター農業振興課

(8) 川崎市農業技術支援センター

2 その他必要と認める時は、意見を聞くため関係者等の出席を求めることができる。

(座長)

第4条 座長は専門部会委員の互選により選出する。

(ワーキングチームの設置)

第5条 座長は、個別の課題を検討するために、必要に応じてワーキングチームを設置することができる。

2 ワーキングチームメンバーは、専門部会において指名する。

(事務局)

第6条 専門部会の事務局は、川崎市農業振興センター農地課に置く。

(その他)

第7条 この要領に定めるもののほか、専門部会の運営に必要な事項は部会長が定める。

附 則

この要領は平成26年 月 日から施行する。

# 農産物等研究専門部会の取組み（案）

## 1 構成

- ・ 明治大学農場（座長 佐倉朗夫 特任教授）
- ・ J A セレサ川崎（指導相談部、生産組合）
- ・ 神奈川県（農業技術センター）
- ・ 川崎市（経済労働局工業振興課、農業振興課、農業技術支援センター、麻生区役所企画課）

## 2 検討事項

### （1）郷土作物について

- ① 麻生区内の郷土作物、伝統野菜の調査・掘り起こし、特徴の把握
- ② 麻生区内で栽培されている郷土作物である岩ちゃん豆と万福寺ニンジンの試験栽培及び加工の検討

### （2）農産加工品の商品化について

例) シカクマメを利用した黒味噌作り

- ① シカクマメの収穫適期等の検討
- ② シカクマメと大豆の配合比の検討

### （3）新規農産物の提案会の実施

明治大学の研究室等で取組んでいる作物の中で、経済性の高い農産物や直売所向けの農産物について提案会を行い、興味を持った農家に種苗等を提供し試験栽培を行ってもらおう。

### （4）普及啓発活動

- ① セレサモス等での試験販売や学生によるアンケート調査を行い、今後の商品化の可能性を探る。
- ② 栽培マニュアルの作成及び配布
- ③ 必要な種苗等の購入

## 3 スケジュール（平成 26 年度）

（月）	専門部会	試験栽培
5 月	第 1 回 専門部会の開催 （地元への農産物提案会実施にむけた調整）	シカクマメ、岩ちゃん豆定植
5～6 月	黒川支部を対象とした提案会の実施 栽培の協力依頼	
10 月	第 2 回 専門部会の開催	収穫、味噌作り
平成 27 年 2 月	試験研究成果等の報告	

明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会  
(仮称) 地域活性化検討専門部会設置要領 (案)

(趣旨)

第1条 明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会設置要綱第7条に基づき、黒川を中心とした麻生区内において、農や緑、そして環境を通じた地域の活性化や地産地消の推進につながるイベント等の実施や必要な施設等の検討を行うため地域活性化検討専門部会（以下「専門部会」という。）を設置する。

(協議事項)

第2条 専門部会は、次の事項について協議する。

(1) 地域連携イベント

- ア 明治大学黒川農場収穫祭の企画・販売
- イ 農業体験イベントの実施
- ウ グリーン・ツーリズムの推進
- エ 地産地消の推進

(2) 地域資源の有効利用

- ア 地域資源の調査・分析・活用
- イ 地域資源やイベント等のPR活動

(3) その他前各号に附帯する事項

(専門部会委員等)

第3条 専門部会委員は次の選出区分から協議会が選任する。

- (1) 明治大学 **農学部及び農場**
- (2) セレサ川崎農業協同組合
- (3) 農業者団体
- (4) 地元町内会
- (5) 川崎市経済労働局工業振興課
- (6) 川崎市経済労働局農業振興課
- (7) 川崎市経済労働局農地課
- (8) 川崎市経済労働局農業技術支援センター
- (9) 川崎市環境局減量推進課
- (10) 川崎市建設緑政局緑の協働推進課

(11) 川崎市麻生区役所企画課

(12) 川崎市麻生区役所地域振興課

(13) 川崎市麻生区役所道路公園センター

2 その他必要と認める時は、意見を聞くため関係者等の出席を求めることができる。

(座長)

第4条 座長は専門部会委員の互選により選出する。

(ワーキンググループ)

第5条 専門部会は、必要に応じワーキンググループを置くことができる。

(関係者)

第6条 専門部会は、必要に応じ関係者の出席を求め、その説明又は意見を聞くことができる。

(事務局)

第7条 専門部会の事務局は、川崎市麻生区役所企画課に置く。

(その他)

第8条 この要領に定めるもののほか、専門部会の運営に必要な事項は座長が定める。

附 則

この要領は平成26年 月 日から施行する。



## 里地里山保全利活用専門部会の取組み（案）

### 1 構成

- ・ 明治大学農場（座長 三谷 清 客員教授）
- ・ 地元農業者団体、里山保全団体
- ・ 神奈川県（横浜川崎地区農政事務所）
- ・ 川崎市（経済労働局農業振興課・農地課・農業技術支援センター  
麻生区役所企画課・道路公園センター整備課、建設緑政局みどりの協働推進課）

### 2 検討事項

- (1) 里山の保全活動について
  - ① 特別緑地保全地区の現況及び保全管理活動の取り組み状況の把握
  - ② 黒川地区の生態系について調査
- (2) 里地里山を活用した地域活性化について
  - ① 黒川地区ウォーキングマップの検討
  - ② 里山と農が一体となったウォーキングラリーの開催の検討
- (3) 里地里山の保全に関する事例発表等について
  - ① 黒川地区で保全活動している団体等の事例発表
  - ② 明治大学主催の里山シンポジウムへの参加

### 3 スケジュール（平成 26 年度）

月	専門部会	
6 月	第 1 回 専門部会の開催 【黒川の見どころ発見】 ウォーキングマップのデータ収集 ウォーキングマップ案の作成検討	地域の歴史・自然環境資産や素晴らしい景観、珍しい景観等の発見、聞き取りの実施
6～9 月		マップ（案）、ウォーキングラリー実施計画（案）の作成
10 月	第 2 回 専門部会の開催 ○ 収穫祭等と連携したウォーキングラリーの実施計画（案）の提示と実施に向けた調整 ○ マップ（案）の提示と意見交換	里地里山の景観と農との触れ合いの場を提供する。
平成 27 年 3 月		活動報告、活動計画の取りまとめ

## 明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会

## (仮称) 里地里山保全利活用専門部会設置要領 (案)

(趣旨)

第1条 明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会設置要綱第7条に基づき、黒川を中心とした麻生区内において、多摩丘陵の里地里山の地域的価値を見直し、里地里山の保全、再生、活用を目指すことを目的に里地里山保全利活用専門部会（以下「専門部会」という。）を設置する。

(協議事項)

第2条 専門部会は、次の事項について協議する。

(1) 里地里山景観の保全及び利活用による地域活性化の推進

ア 里地里山景観の保全方策の検討及び利活用の推進

イ 生物多様性の保全に配慮した取組の検討及び推進

ウ 里地里山の景観保全に関する事例発表、研究発表等の実施

エ 里地・里山ミュージアム構想、グリーン・ツーリズムと連携した事業の推進

(2) 里地里山の間伐材等の資源を生かした自然エネルギー循環型の地域づくり

ア ペレットやチップの活用方策の検討

(3) その他前各号に附帯する事項

(専門部会委員等)

第3条 専門部会委員は次の選出区分から協議会が選任する。

(1) 明治大学農学部及び農場

(2) セレサ川崎農業協同組合

(3) 農業者団体

(4) 里山保全管理団体

(5) 神奈川県横浜川崎地区農政事務所

(6) 川崎市経済労働局農業振興課

(7) 川崎市経済労働局農地課

(8) 川崎市経済労働局農業技術支援センター

(9) 川崎市麻生区役所企画課

(10) 川崎市麻生区役所道路公園センター整備課

(11) 川崎市建設緑政局みどりの協働推進課

2 その他必要と認める時は、意見を聞くため関係者等の出席を求めることができる。

(座長)

第4条 座長は専門部会委員の互選により選出する。

(事務局)

第5条 専門部会の事務局は、川崎市建設緑政局みどりの協働推進課に置く。

(その他)

第6条 この要領に定めるもののほか、専門部会の運営に必要な事項は座長が定める。

(施行)

第7条 この要領は平成26年 月 日から施行する。

## 地域活性化検討専門部会の取組み（案）

### 1 構成

- ・ 明治大学農場（部会長 藤原特任教授）
- ・ J Aセラサ川崎、農業者団体、地元町内会
- ・ 市（経済労働局工業振興課、農業振興課、農業技術支援センター、環境局減量推進課、建設緑政局緑の協働推進課、麻生区役所企画課、地域振興課、道路公園センター）

### 2 検討イメージ及び具体例

#### （1）地域連携イベントの検討・実施

##### ① 明治大学黒川農場収穫祭の企画・販売

- ・ 11月に開催予定の収穫祭の機会を捉え、黒川地区の魅力等を伝える展示物やイベント、出店等の企画・実施

##### ② 農業体験イベントの実施

- ・ 農作物の植え付け・収穫等の楽しさを伝え、食や黒川地区の農作物への関心を高めるイベントの企画・実施（既存のイベントとの連携も視野）

##### ③ グリーンツーリズムの推進

- ・ グリーンツーリズムへの関心を高める方策（サイン整備、PRなど）の検討
- ・ ウォーキングイベントや写真コンクール、アウトドア活動などのイベントの企画・実施（既存のイベントとの連携も視野）

##### ④ 地産地消の推進

- ・ 黒川産野菜の販売による魅力発信
- ・ 学生と連携し、黒川産野菜を材料にしたスイーツ等のレシピ開発

#### （2）地域資源の有効活用

##### ① 地域資源の調査・分析・活用

- ・ 各委員の所属組織の取組状況を持ち寄り、上記のイベント及び情報発信の検討材料として活用

##### ② 地域資源やイベント等のPR活動

- ・ 地域資源や上記イベントの効果的なPR活動の方法検討（ホームページ、写真コンクール、地域メディアとの連携など）

### 3 スケジュール

月	専門部会	協議会・イベント
<b>26年度</b> 5月	〔第1回〕 現状と課題の把握・整理 モデル事業の提案 取組事項・役割分担の確認	協議会（6月）
6月～	モデル事業及び基本計画・実施方針等の関係者調整	
9月	〔第2回〕 検討結果の取りまとめ ⇒基本計画及び実施方針（案）の確認	H27 予算要求（9月） 協議会（10月）
11月	収穫祭を利用した住民説明及びアンケート	明治大学黒川農場収穫祭
<b>27年度</b> 上半期	〔2回程度〕 実施計画の検討・作成 ⇒新総合計画・実行計画(H28～)に反映	H28 予算要求（9月）

※必要に応じてワーキンググループを設置します。

# 明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会スケジュール (平成26年3月～平成27年3月)

平成26年

平成27年

区分	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月												
明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度 第1回 協議会(3月17日)</li> <li>・連携の実績について</li> <li>・専門部会の設置について</li> </ul>																								
				<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度 第1回 協議会(6月)</li> <li>・黒川地域の現状と課題について</li> <li>・専門部会の報告及び方向性について</li> </ul>																					
								<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度 第2回 協議会(10月)</li> <li>・専門部会の報告について</li> <li>・平成27年度事業計画(案)について</li> <li>・基本計画・実施方針(案)について</li> </ul>																	
									<ul style="list-style-type: none"> <li>明治大学黒川農場収穫祭(基本計画・実施方針(案)の説明と意見聴)</li> </ul>																
農産物等研究専門部会			第1回部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規農産物の提案会の実施</li> <li>・栽培マニュアル等の作成</li> </ul>																					
							第2回部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験栽培結果の取りまとめ</li> <li>・加工品の試作</li> </ul>																	
地域活性化専門部会			第1回部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワーキンググループの開催</li> <li>・個別テーマの検討・調整</li> <li>・モデル事業の実施</li> </ul>																					
							第2回部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワーキンググループの開催</li> <li>・住民等意見の反映</li> <li>・27年度事業実施に向けた調整</li> </ul>																	
里地里山保全利活用専門部会			第1回部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキングマップ作成</li> <li>・イベント実施計画(案)の作成</li> </ul>																					
							第2回部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動報告、活動計画の取りまとめ</li> </ul>																	
									<ul style="list-style-type: none"> <li>農産加工品の</li> <li>地域の魅力を</li> <li>ウォーキングイベントの企</li> </ul>																
													<ul style="list-style-type: none"> <li>基本方針の確定</li> <li>報告会の実施</li> <li>事業企画の確定</li> <li>マップの配布</li> </ul>												